

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	施設管理・周辺対策一般事業			540109	担当課	生活環境課		
	開始年度	昭和50(1975)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成			
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	160	頁		
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	-			
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	環境パーク周辺地域の環境対策及び環境パーク施設管理等を適切に行うことで、環境パーク利用者へのサービスの充実と周辺地域住民の生活環境の保全を行う。							
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.14			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)北陸環境科学、(株)アクアテック							
	事業概要	環境パーク周辺地域の大气環境測定業務及び、環境パーク場内の雨水排水管浚渫を業者委託により行う。また、施設の維持に要する消耗品、車両の維持管理、適切なごみ処理に必要な資材など必要な経費を賄う。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		不法投棄防止看板、車両修繕、燃料代			795		
役務費		自動車保険等			130				
委託料		環境パーク周辺環境測定、場内雨水排水浚渫ほか			7,455				
公課費		自動車重量税			59				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		6,950	9,826	8,589	0		
		補正予算等・・・②		626	0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		7,576	7,617	6,024	0	
			国支出金		0	0	0	0	
			府支出金		0	2,144	2,500	0	
			地方債		0	0	0	0	
			その他特財		0	65	65	0	
			特定財源名称 (H29実績)		みらい一括交付金		2,117	府補助金	0 頁
			電柱占用料		66	使用料	10 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.2/0	0.18/0	0.18/0	/		
概算人件費・・・④		1,600	1,440	1,440					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			9,176	11,266	10,029				
執行状況	執行額・・・⑥		7,576	8,439					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	85.9%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		環境基準達成率	%	100/100	100/100	/100	100		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		測定箇所数	箇所	10/10	10/10	/10	10		
		単位あたりコスト		757.6	843.9				
			/	/	/				
	単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・環境パーク施設管理、周辺対策のために必要な事業であり、市民サービスの充実につながっている。地元との公害防止協定の遵守のためにも必要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト削減に努める必要があるが、最低限の経費で済むよう心がけている。 ・測定業務等は、直接実施よりも業者委託が最も効率がよく、コスト削減が図れる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果指標は、環境パーク周辺住民の安心安全が図れるものとしている。 ・測定機器の設置場所の提供など、地元協力を得ながら実施している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	測定結果は、環境基準を達成しており、ごみ焼却施設を原因とする大気汚染の影響を危惧されている周辺地域住民に不安を与えない結果が得られている。 環境パーク場内の施設管理についても、適切な維持管理が図れている。		
	今後の課題及び方向性	・環境パーク周辺自治会と環境保全に関する信頼関係の維持・継続に必要な事業であり、今後も継続的に実施をする。 ・環境パーク施設管理についても同様に必要であり、継続的に実施をする。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・周辺対策等に係る取組については、本事業に集約を(法令に基づく運営管理・施設費等は別に)。同時に、事業名について、他の施設管理と混同しないよう修正を ・環境基準の達成状況(アウトカム)については、できる限り具体的に示されたい ・委任が大半の事業なので、入札者数及び落札率等を一次評価内に表記するように		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・平成31年度から環境パーク運転・維持管理事業及び不法投棄防止パトロール事業に統合する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	資源ごみ集団回収報奨事業 (540113)			担当課	生活環境課		
	開始年度	平成3(1991)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	160	頁	
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	資源ごみ集団回収団体報奨金支給要綱		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	各種市民団体の自主的な資源ごみの集団回収により、環境パークへ持ち込まれるごみ量が減少し、処理費用の削減が図られている。 PTA、子ども会、老人会などの団体による回収活動を通じて、子どもから高齢者まで、すべての人がごみの減量・分別・リサイクルの必要性を実感し、環境問題の大切さを認識している循環型社会のまちづくりを実現する。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.14		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 登録団体 110団体						
	事業概要	営利を目的としない団体(PTA、子ども会、自治会など)による資源ごみ(新聞、雑誌、ダンボール、空き缶、廃食用油など)の集団回収に対し、資源ごみ1kgあたり4円(廃食用油の場合は1リットルあたり4円)の報奨金を支給することで市民の自主的な活動を後押しし、ごみの減量、リサイクルを進める。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
	報償費	1,902,000kg(回収量) × 4円			7,608			
関連事業								
予算と執行の状況	区 分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	11,056	9,878	6,258	5,700		
		補正予算等…②	0	0	0	0		
		繰越し等…③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	5,528	4,939	6,258	2,850		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	5,528	4,939	0	2,850		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金		3,187	府補助金	24 頁	
						頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.18/0	0.17/0	0.17/0	/			
	概算人件費…④	1,440	1,360	1,360				
総事業費(①+②+③+④)…⑤		12,496	11,238	7,618				
執行状況	執行額…⑥		8,341	7,608				
	執行率(⑥/(①+②+③) × 100)		75.4%	77.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		リサイクル率	%	18.3 / 19.5	17.5 / 20.0	/ 22.6	25.0(H32)	
		年間1人当たりごみ排出量	kg	152 / 155	147 / 151	/ 147	138(H32)	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		資源ごみ回収量	t	2,085/2,747	1,902 / 2,774	/ 2,809	2,882	
		単位あたりコスト		4.0	4.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・子ども会、PTAなど多くの団体が登録しており、この制度は市民に定着している。 ・この事業による回収量は、市全体の再資源化量に大きな割合を占めている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・前年度実績で試算すると、市が同量の資源ごみを収集・処理をする場合よりも、報奨金制度のほうが経費節減ができる計算結果であった。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 ・他の多くの市町村でも実施されており、その取組みを参考にしている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・市民による積極的な集団回収により、環境パークへのごみの持込み量を減らすことに貢献しており、処理費用の削減やリサイクル率の向上につながっているが、目標値達成のためには回収量の増加が必要であり、活動意欲を高めるための啓発等の方策を検討しなければならない。	
	今後の課題及び方向性	資源ごみ回収を実施する団体が減少傾向にあるため、実施団体の増加や環境意識の向上を目指しながら、報奨金単価について、回収量、引き取り価格、及び他市町村の状況から総合的に判断し、最適なバランスについて検討する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・平成31年度以降、実施団体の増加や環境意識の向上を目指しながら買取市場価格と報奨金単価との最適なバランスについて継続して検討する。 【H29年度棚卸しに係る見直し状況】 ・平成30年度は、報奨金単価を1kg当たり4円から3円に変更し、それに伴う実施状況の変化や買い取り市場価格についてデータを収集している。今後、これらデータを基に方向性を検討する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	清掃管理一般事業 (540119)			担当課	生活環境課		
	開始年度	昭和50(1975)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) 清掃総務費	決算附属資料	158・160	頁	
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	-		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	廃棄物処理等の市民サービスを充実させるために、環境パークの運営に関する一般行政事務を円滑に進めることを目的としている。 一般事務に要する予算を一括することで、円滑な予算管理が進み事務の効率化を進める。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.55		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉						
	事業概要	環境施策に関する調査回答、連絡調整など、全般的な事務を行う。(庶務、予算の管理、執行) その他、京都府廃棄物処理対策協議会・全国都市清掃会議の年会費の負担、旅費など全般に渡る事務的経費を一括して賄う。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費	
		旅費	廃棄物処理対策協議会総会ほか				221	
		需用費	用度物品、プリンタナー、参考書籍ほか				1,571	
役務費		電話料、郵送料				783		
使用料及び賃借料		複写機使用料				889		
研修等参加負担金	全国都市清掃会議年会費ほか				107			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①		4,394	3,645	3,653	3,537	
		補正予算等…②		0	0	0		
		繰越し等…③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		4,394	3,645	3,653	3,537	
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
	職員人件費	特定財源名称 (H29実績)					頁 頁	
		従事職員数(正職/嘱託)		4.66/0.39	4.77/0.56	4.77/0.56	/	
概算人件費…④			38,255	39,560	39,560			
総事業費(①+②+③+④)…⑤			42,649	43,205	43,213			
執行状況	執行額…⑥		3,692	3,571				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		84.0%	98.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		一般事務経費の削減率	%	4.5/10	1.5/10	/10	10	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		文書処理件数	件	870 / 700	885 / 700	/700	700以下	
		単位あたりコスト		4.2	4.0			
			回	/	/	/		
単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・環境行政事務の円滑な実施のために必要な事業であり、市民サービスの充実につながっている。事務を進める上で必要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト削減に努めることが必要であり、最低限の経費で済むよう事務の効率化などに心がけている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標は、事務の効率化により経費節減できた率で表している。より良い指標があれば変える必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	円滑な事務執行や、市民サービスの充実という目標の達成状況を評価する適切な指標の設定が難しい面がある。	
	今後の課題及び方向性	無駄をなくすため、必要な事務処理と必要な経費の見極めを行い、経費節減に努める。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	効率的な事務執行による経費節減に努める。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	第1期・第2期処分場埋立整備事業			540123	担当課	生活環境課	
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成43(2031)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	160	頁	
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	逼迫状態の不燃物埋立処分場において、第1期・第2期エリアの埋立量の拡大を図り、環境パーク全体の延命化を図ることで、市民生活に欠かすことのできない廃棄物の適正な処理を実施し、安全かつ衛生的な市民サービスの向上に努める。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.85		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 ㈱高尾組						
	事業概要	平成27年度に測量設計業務、平成28年度は生活環境影響調査業務、平成29年度より嵩上げ整備工事を進めている。 埋立面積 4,500㎡、埋立量 21万㎡拡大する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		工事請負費		最終覆土A=7,560㎡、ガス抜き管設置N=11本			60,562	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		20,000	78,300	119,023	0	
		補正予算等・・・②		△ 7,000	△ 15,000	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
		財源内訳	一般財源		8,667	0	0	
			国支出金		4,333	0	36,007	
			府支出金		0	0	0	
			地方債		0	60,100	73,000	
			その他特財		0	3,200	10,016	
			特定財源名称 (H29実績)		第1期・第2期処分場埋立整備事業(旧合併特例債)		57,500	旧合併特例債
			第1期・第2期処分場埋立整備事業基金繰入		3,062	基金繰入金	40 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.50/0	0.46/0	0.46/0	/	
		概算人件費・・・④		4,000	3,680	3,680		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			17,000	66,980	122,703			
執行状況	執行額・・・⑥		10,686	60,562				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		82.2%	95.7%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		埋立増量	㎡	0 / 0	0 / 0	/ 8万	21万	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		単年当たり事業進捗率	%	1 / 1	5 / 5	/ 7	埋立完了	
		単位あたりコスト		10,686.0	12,112.4			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・新たな処分地の確保に比べ、現処分場の嵩上げを行うことでコスト削減を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標、活動目標については、各年度の予定工事を実施し、段階的に埋立量の拡大を図っていくことを目標としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	埋立処分場整備事業が計画に基づき適正に進められていること。また、平成29年度予定工事が適正かつ安全に完成できたことは評価できる。	
	今後の課題及び方向性	現在埋立している第3期処分場の残余容量に余裕がある間に、第1期・第2期の埋立が再開できるよう、事業進捗を促進する必要がある。 また、更なる延命化に向け、産業廃棄物の搬入規制や第4期埋立処分場整備計画を進めていく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> ・整備自体は計画的かつ安価におさめる努力をしていると思うが、そもそも搬入される廃棄物の総量を減量、コントロールしていくことが急務 → 産廃の取り扱いも含めて、早急に方針の決定と市民向け取組の展開を ・処分量の増に伴って、初期整備(地・面・物)に影響が生じないかどうか、不断のチェックを		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p style="text-align: center;">内 容</p> 段階的に整備を行なっている為、平成34年度から第2段階の整備に入る。 完了は平成43年の予定	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	リサイクル啓発事業			540131	担当課	生活環境課		
	開始年度	平成15(2003)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成			
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	160	頁		
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画			
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	家具・自転車などの修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R(スリーアール)のリデュース(ごみを減らす)・リユース(くり返し使う)・リサイクル(資源の再利用)に対する市民の意識向上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現する。							
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.07			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> エコ美遊、シルバー人材センター							
	事業概要	1 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を、リサイクルプラザで展示販売する。 ①展示販売品 ②修理再生自転車の販売 ③修理再生家具類の販売 ④衣類などの無償譲渡 2 環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を活用し、リサイクルプラザ2階の体験コーナーで、実際にガラス細工や布リフォームなどを体験してもらい、家庭や地域などで学んだ技術を活用してもらう。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		家具類、自転車修理材料費一式、ガス代			19		
役務費		修理再生品PL法保険料			5				
委託料		リユース・体験教室委託、家具・自転車修理再生委託			2,906				
備品購入費		アイロン他			18				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		3,282	2,959	2,863	2,574		
		補正予算等・・・②		0	0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		1,397	1,236	1,178	851	
			国支出金		0	0	0	0	
			府支出金		1,396	1,236	1,198	1,287	
			地方債		0	0	0	0	
			その他特財		489	487	487	436	
	特定財源名称(H29実績)	みらい戦略一括交付金			1,453	府補助金	24 頁		
		体験教室参加者材料費			213	雑入	44 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.17/0.10	0.20/0.50	0.20/0.50	/		
概算人件費・・・④		1,610	2,850	2,850					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,892	5,809	5,713				
執行状況	執行額・・・⑥		3,229	2,948					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.4%	99.6%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		リサイクル率	%	18.3/19.5	17.5 / 20.0	/22.6	25.0(H32)		
		一人当たりごみ排出量	kg	152/155	147 / 151	/147	138(H32)		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		自転車・家具等の販売数	点	258/320	521/320	/320	320		
		単位あたりコスト		12.5	5.7				
体験教室参加者数	人	633/660	595/660	/660	660				
単位あたりコスト		5.1	5.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・体験教室や自転車販売には毎回多くの申込みがあり、ニーズはある。リサイクル啓発が目的であり、営利目的の事業者が実施するには適さない事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・環境パークはリサイクル可能なものが豊富に集まり、効率よくリサイクル品の提供やリサイクル教室が行える。委託先は、営利を目的としない団体である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 ・他市との比較では、近隣では最も活発にリサイクル体験教室を実施している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・修理再生家具・自転車の販売及びリサイクル体験教室は、毎年多くの申込みや参加者があり、リサイクル啓発に一定の役割は果たしていると考えますが、本事業が、成果指標であるごみの排出量やリサイクル率に対して、どれだけ効果があったのか、判断するのが難しい。	
	今後の課題及び方向性	・市民のリサイクル意識の向上を促すことが目的であるということ意識しながら、事業を進める必要がある。 ・リサイクル品の販売数や体験教室参加者数が目的ではなく、啓発効果の大きさが重要であり、本事業に参加した市民のリサイクル意識を更に高める事業内容となるよう、研究する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		・意識啓発から、具体的行動(リサイクル率の向上やゴミの減量)につなげていくことが必要不可欠だが、現状の取組からはそこが十分に読み取れない — 単にやっているだけに見える → 事業のあり方そのものから見直すべき		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・ごみ減量化及びリサイクル率の向上に具体的につながる啓発方法となるよう、事業内容を検討し、平成31年度内に方向性を決定する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	環境パーク災害復旧事業 (540134)			担当課	生活環境課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 災害復旧費	項) 厚生労働施設災害復旧費	目) 衛生施設災害復旧費	決算附属資料	266	頁	
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成29年10月の台風21号により被災した環境パークの施設の修繕を行ない施設機能の回復を図る。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.07		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	台風21号により被災した、ごみ焼却棟の軒天修繕及び外周フェンスの修繕を行なう。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		ごみ焼却施設軒天修繕2,106千円、外周フェンス修繕206千円			2,311	
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	0	0	0	
		補正予算等・・・②		0	4,500	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	4,500	0		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0		0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.1/0	0/0	/	
概算人件費・・・④		0	800	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	5,300	0			
執行状況	執行額・・・⑥			0	2,311			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			0.0%	51.4%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設機能の復旧			/	復旧	/	0
					/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		被災箇所の修繕			/	修繕完了	/	
		単位あたりコスト						
			/	/	/			
			/	/	/			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・施設の被災箇所の迅速な修繕をすることで施設の機能の回復を行なう
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・迅速な災害復旧を行なった。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・施設の機能の回復が行なえた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	廃棄物処理施設の機能の復旧が行えた。	
	今後の課題及び方向性	施設の適正な維持管理と災害時の減災の検討。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 災害発生時に的確な復旧が図れるよう平常時に危機管理意識を持って施設管理をおこなう。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	ごみ焼却施設修繕事業			540138	担当課	生活環境課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成			
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	160	頁		
	施策の大綱	低酸素・循環社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画			
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	ごみ焼却施設は市民が快適で衛生的な生活を送るために必要な施設であり、福知山市内から発生するの燃やすごみを、法令及び公害防止協定を遵守し適正かつ安全に焼却処理を行うことで、市民の快適な衛生生活を提供するため、ごみ焼却施設の維持修繕を行う。							
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	1.04			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉							
	事業概要	焼却施設の各機械施設及び電気設備を計画的に整備することで、法令及び公害防止協定の遵守するとともに、施設の延命化を図り廃棄物の適正処理を行う。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		焼却炉耐火物及び機器等修繕、部品等消耗品			55,312		
需用費		焼却炉耐火物修繕(繰越分)			21,600				
関連事業	リサイクルプラザ修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理施設運転維持管理事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		70,000	50,700	58,185	113,050		
		補正予算等・・・②		△ 36,748	4,893	0			
		繰越し等・・・③		△ 22,419	22,419	0			
	財源内訳	一般財源		0	10,612	15,885	12,982		
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		6,300	53,500	42,300	84,000		
		その他特財		4,533	13,900	0	16,068		
		特定財源名称(H29実績)	市庁内ごみ手数料			3,000	手数料	14 頁	
		ごみ焼却施設修繕事業(一般廃棄物処理)			57,300	市債	48 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.32/0	0.44/0	0.44/0	/		
概算人件費・・・④		2,560	3,520	3,520					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			13,393	81,532	61,705				
執行状況	執行額・・・⑥			9,661	76,912				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			89.2%	98.6%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		公害防止協定、協定値の遵守			協定値以下	協定値以下	協定値以下	協定値以下	
					/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		ごみ焼却量		t	18935 / 15567	18931 / 15298	/ 14281		
		単位あたりコスト			0.5	4.1			
			/	/	/				
単位あたりコスト			0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ焼却量。 ・有効な技術等を常に研究している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	施設の計画的な修繕を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な「ごみ焼却」が行なえた。 ごみの焼却処理に発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。	
	今後の課題及び方向性	ごみ焼却を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調達コストの適正さを担保する仕組みづくりが必要。他地域の情報を得るなど工夫は可能。 ・トータルコストの把握が必要。 ・長寿命化、予防保全によるコスト削減効果が解る資料や計画が必要であり、徹底した情報公開のもとに行われるべき。(判定人意見) ・修繕費の比較ができない事業費の支出はおかしい。 		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</p> <p><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<p style="text-align: center;">予 防 保 全 の 観 点 か ら 修 繕 計 画 を 見 直 す と と も に 、 コ ス ト 削 減 効 果 を 検 証 を 行 っ て 、 部 品 、 材 料 の 調 達 コ ス ト に つ い て も 調 査 検 討 を 行 な っ た 。</p>		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	水処理施設運転・維持管理事業			540142	担当課	生活環境課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成			
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	160・162	頁		
	施策の大綱	低酸素・循環社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画			
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・容器リサイクル法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市環境パーク及び三和町・夜久野町・大江町の最終処分場から流れ込む浸出水を適正に処理するための水処理施設をそれぞれ設置している。その施設で処理された浸出水は、放流水として河川放流をするが、その放流水質は、法令の排出基準及び環境保全協定に定められた基準を遵守しなければならない。そのため、水処理施設の機械・電気設備を計画的な整備修繕を行うとともに、水処理施設の適正かつ安定した稼働と適切な施設管理を図ることを目的とする。							
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.58			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉							
	事業概要	不燃物理立処分場から排出される汚水(浸出水)を、公共水域基準及び公害防止協定値以下まで処理を行う浸出水処理施設の安定かつ確実な稼働の維持管理を行う。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		消耗品費、光熱水費、修繕料			16,065		
委託料		浸出水処理施設 汚泥管理業務等			22,113				
役務費		通信運搬費、浄化槽点検			272				
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業環境パーク運転・維持管理事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		33,076	39,120	39,267	40,328		
		補正予算等・・・②		294	1,122	0			
	繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		33,370	23,643	21,699	18,022		
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	16,599	17,568	22,306		
		特定財源名称 (H29実績)	下水道処理手数料			6,000	手数料	14 頁	
		市庁内ごみ手数料			15,160	手数料	14 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.49/0	0.65/0	0.65/0	/		
		概算人件費・・・④		3,920	5,200	5,200			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			37,290	45,442	44,467				
執行状況	執行額・・・⑥			27,716	38,450				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			83.1%	95.5%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	協定値以下	協定値以下		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		放流量	t	88,800 / 136,145	88,572 / 136,145	/ 136,145	完全処理		
		単位あたりコスト		0.3	0.4				
				/	/	/			
単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理は必要である。施設の適正管理を行うことにより公害防止協定の排水基準を守るうえで有効である。水処理施設放流水の排出基準及び公害防止協定基準を順守できた。		
	今後の課題及び方向性	排水基準及び公害防止協定を遵守するため水処理施設の適正管理は必要である。施設の適正管理を行うことにより公害防止協定の排水基準を守るうえで有効である。水処理施設放流水の排出基準及び公害防止協定基準を順守できた。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・処理施設・業務に係る委託について、水処理施設そのものの委託と一体化(包括化)できないか ・1期・2期の延命化を組み入れた、中・長期的かつ総合的な計画が必要 → 施設の更新、費用負担のあり方等、審議会で早急に検討すべき		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算削減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	予防保全の観点から修繕計画を見直すとともに、コスト削減効果の検証を行なう。 施設管理業務はごみ焼却施設等を含む廃棄物処理施設運転管理委託に統合されている。 水処理施設に係る業務の包括化についてはコスト面からも困難である。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	第4期処分場埋立整備事業			540148	担当課	生活環境課	
	開始年度	平成31(2019)	終了予定年度	平成40(2028)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	頁		
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	逼迫状態の不燃物埋立処分場において、第4期処分場の整備を図り、環境パーク全体の延命化を図ること で、市民生活に欠かすことのできない廃棄物の適正な処理を実施し、安全かつ衛生的な市民サービスの向 上に努める。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.00		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	平成31年度に基本計画・基本設計及び環境影響調査をおこなう。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容			H29経費	
関連事業								
予算と執行の 状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①					20,046	
		補正予算等・・・②						
		繰越し等・・・③						
	財源内訳	一般財源					1,365	
		国支出金					6,681	
		府支出金						
		地方債					12,000	
		その他特財						
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)					/	
概算人件費・・・④								
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	0	0			
執行状況	執行額・・・⑥							
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			#DIV/0!	#DIV/0!			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標	
		埋立増量	m ³	0 / 0	0 / 0	/		
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標	
		単年当たり事業進捗率	%	1 / 1	5 / 5	/ 7	埋立完了	
		単位あたりコスト		0.0	0.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か		
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か		
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か		
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか		
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか		
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか		
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか		
		目的及び指標等の達成状況に対する評価		
	今後の課題及び方向性			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	埋立処分場整備計画に沿って、第4期埋立処分場の整備を行なう。	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	環境パーク運転・維持管理事業 (540154)			担当課	生活環境課		
	開始年度	平成12(2000)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	162	頁	
	施策の大綱	低酸素・循環社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	*廃棄物の処理及び清掃に関する法律 *容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	市民の生活から日常的に排出される廃棄物の処理を行なううえで、施設は良好な状態で維持しなければ、排出されるごみを適切に処理ができない。機器のトラブルにより、ごみを滞留させることは市民の安心して快適な衛生生活が確保されない。環境パークの施設を安全に保つため維持管理に努め市民生活の安全安心を図る。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	2.82		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> シルバー人材センター、荒川電気設備管理事務所、福知山環境事業共同組合、福知山クリーンセンター、ダイワエンジニアリング、ニチソウテック、オリックスファミリーーズ、近畿環境開発、環境技術研究所、フォールス						
	事業概要	平成12年度より燃やすごみを処理するために、現在のごみ焼却施設の稼働を初め、またリサイクルプラザは平成15年度より稼働を始め、「福知山市環境パーク」として17年が経過した。ごみ処理は、市民生活に密着したライフラインの一部であり、法に則した燃やすごみの完全な処理が、市民の快適な衛生生活を提供することとなる。住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理必要な施設の整備を行う。法令及び公害防止協定を遵守する必要もある。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		焼却薬品代、その他消耗品、燃料費、電気料、上下水道料、修繕料			99,843	
委託料		不燃物埋立処分場整地業務 他10件			77,126			
使用料及び賃借料		トラックスケール賃借料、公用車リース料			12,843			
役務費		公用車車検手数料等			1,507			
賃金ほか					2,435			
関連事業	リサイクルプラザ修繕事業、ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理施設運転維持管理事業、							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	206,345	208,306	210,741	213,609		
		補正予算等・・・②	△ 13,403	△ 6,935	0			
		繰越し等・・・③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	13,644	78,922	83,918	88,544		
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	179,298	122,449	126,823	125,065		
		特定財源名称(H29実績)	一般廃棄物手数料		20,000	手数料	14 頁	
		産業廃棄物手数料		20,000	手数料	14 頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	1.93/2.5	1.77/2.55	1.77/2.55	/			
	概算人件費・・・④	21,690	20,535	20,535				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		214,632	221,906	231,276				
執行状況	執行額・・・⑥		192,520	193,754				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.8%	96.2%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	協定値以下	協定値以下	
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		廃棄物処理量(焼却、リサイクルプラザ)	t	23044 / 18937	23206 / 18555	/ 17436	完全処理	
		単位あたりコスト		8.4	8.3			
	回	/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	施設の安全、適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な「廃棄物処理」が行なえた。 ごみ処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。	
	今後の課題及び方向性	廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行うとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 環境パーク施設のユーティリティ経費であるため、適正な運転管理を行なうとともに、より効率的な施設管理を行ない経費の節減にをおこなう。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	リサイクルプラザ修繕事業 (540155)			担当課	生活環境課	
	開始年度	平成15(2003)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成	
	歳出費目	款)衛生費	項)清掃費	目)じん芥処理費	決算附属資料	162	頁
	施策の大綱	低酸素・循環社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画	
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・容器リサイクル法	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生活から日常的に排出される廃棄物の処理を行なううえで、経年劣化に伴う性能低下が著しいサイクルプラザの各機械設備部品を計画的に整備することで、資源ごみ処理を適正に行っていく。					
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.99	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	リサイクルプラザ内の各施設は15年が経過した。容器包装プラスチック他の資源ごみの中間処理を行い、循環型社会の市民への啓蒙を行っている。法に則した資源ごみの完全な処理は、市民の快適な衛生活生活を提供することとなる。住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理費を計上し施設の整備を行う。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
		需用費	機器修繕料			55,052	
委託料		不燃物埋立処分場破砕機運転管理業務			1,544		
使用料及び賃借料		サイクルプラザ ペットボトル圧縮梱包機 賃貸借			2,592		
工事請負費		リサイクルプラザ棟空調機更新工事			13,122		
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理施設運転維持管理事業、環境パーク運転・維持管理事業						
予算と執行の 状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	63,384	75,471	53,628	49,675	
		補正予算等・・・②	32,387	△ 1,418	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	23,619	5,865	17,228	7,233	
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	5,352	5,482	0		
		地方債	66,800	51,100	36,400	34,600	
		その他特財	0	11,606	0	7,842	
		特定財源名称 (H29実績)	リサイクルプラザ修繕事業(一般廃棄物処理)		34,900	市債	48 頁
		みらい戦略一括補助金		16,421	府補助金	24 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.52/0	0.52/0	0.52/0	/	
概算人件費・・・④		4,160	4,160	4,160			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		99,931	78,213	57,788			
執行状況	執行額・・・⑥	75,886	72,310				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)	79.2%	97.6%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		搬入廃棄物の分別処理		完全処理	完全処理	完全処理	完全処理
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		リサイクルプラザ処理量	t	4109/ 3370	4275/ 3257	/ 3155	完全処理
		単位あたりコスト		18.5	16.9		
				/	/	/	
単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	施設の計画的な修繕を行うことにより、市内で発生するリサイクルごみの安定かつ適正な分別処理が行なえた。	
	今後の課題及び方向性	廃棄物を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 予防保全の観点から修繕計画を見直すとともに、コスト削減効果を検証を行なう。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	指定ごみ袋作製事業 (540165)			担当課	生活環境課		
	開始年度	平成13(2001)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	162	頁	
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	有料指定ごみ袋の導入(一般廃棄物の有料化)により、費用負担を軽減しようとするインセンティブが生まれ、ごみの排出量の抑制やリサイクルを促進ことが期待できる。ごみの減量により、焼却施設や埋立処分場の負荷を減少させると共に、延命化を図ることが可能となり、財政負担の軽減につながる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.73		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 作製:㈱丸硝						
	事業概要	ごみ袋作製業者を年度当初に競争入札により決定し、平成29年度は、指定ごみ袋を燃やすごみ264万枚、燃やさないごみ69万枚、容器包装プラ115万枚、合計448万枚作製した。また、地域美化作業専用ごみ袋として、持込用6千枚、ステーション用1万3千枚作製した。 また、指定ごみ袋を市民の皆さんが身近で購入できるよう、卸売・小売業者に販売委託しており、交付実績に応じて手数料を支払う。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		指定ごみ袋各種計448万枚、地域美化袋各種計1.9万枚			24,680	
役務費		交付枚数約417.7万枚の5円/1枚の手数料			22,556			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算...①		62,046	56,200	46,631	47,095	
		補正予算等...②		△ 13,358	△ 1,174	0	0	
		繰越し等...③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		0	0	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		48,688	55,026	46,631	47,095
	特定財源名称 (H29実績)	指定ごみ袋処理手数料		47,236	手数料	14	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.24/0.28	0.24/0.24	0.24/0.24	/	
概算人件費...④		2,620	2,520	2,520				
総事業費(①+②+③+④)...⑤			51,308	57,546	49,151			
執行状況	執行額...⑥		47,341	47,236				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		97.2%	85.8%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間1人当たりごみ排出量	kg	152 / 155	147 / 151	/ 147	138(H32)	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		ごみ収集量(可燃・不燃・プラ)	t	12,292 / 1,1795	11,997 / 1,1435	/ 1,1108	10,487	
		単位あたりコスト		3.9	3.9			
		単位あたりコスト		/	/	/		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・国の指針により有料化すべきと明確化されており、排出抑制、再生利用の促進、負担の公平化のために必要性が高い
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・作製費は、競争入札によりできるだけ安価となるよう努めている。 ・販売は、民間事業所に委託することで人件費削減を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	一般廃棄物処理基本計画で示している一般廃棄物の減量化目標を達成したことは評価できる。	
	今後の課題及び方向性	定期的にごみ分別排出の目的や効果、ごみ処理経費等を広報誌やごみ分別パンフレットにより市民に周知し、排出抑制の意識向上に努める。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 ・ごみ排出量削減に向けて、より効果的な施策を平成33年度までに模索する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	ごみ収集運搬事業 (540171)			担当課	生活環境課		
	開始年度	昭和57(1982)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	162	頁	
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民1人当りのごみ排出量の削減をまずため、3Rの推進で減量化を進めるとともに、市民から排出される廃棄物(可燃、不燃、容器包装プラスチック、資源ごみ、粗大ごみ等)の分別収集を確実にを行い、衛生的で快適な生活環境を確保する。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	5.93		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 福知山環境事業協同組合ほか6者						
	事業概要	安定的で円滑な収集運搬を確実にを行うため、適切な市民対応ができる信用・技術・経験を有する業者へ委託する。 ゴミステーションの収集:可燃・不燃・容器プラ 4者、資源ごみ収集 3者 粗大ごみ等収集:2者						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		役務費		公用車購入に係る点検手数料、保険料等			182	
業務委託料		廃棄物収集運搬業務委託 8件			457,746			
備品購入費		缶収集用公用車(3tトラック、軽トラック)購入			4,419			
公課費		公用車購入に係る重量税			24			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		445,856	467,266	458,759	462,312	
		補正予算等・・・②		0	△ 4,220	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		265,798	289,254	289,643	307,336	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		180,058	173,792	169,116	154,976	
		特定財源名称 (H29実績)	一般廃棄物手数料		112,314	手数料	14	頁
		産業廃棄物手数料		83,763	手数料	14	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.26/0.1	0.39/0	0.39/0	/	
概算人件費・・・④		2,330	3,120	3,120				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			448,186	466,166	461,879			
執行状況	執行額・・・⑥			445,854	462,371			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	99.9%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間1人当たりごみ排出量	kg	152 / 155	147 / 151	/ 147	138(H32)	
		分別不良によるごみ残し数	袋	/	/	/ 0	0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		ごみ収集量	t	13,638 / 1,3049	13,502 / 12,651	/ 12,289	11,603	
		単位あたりコスト		32.7	34.2			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、生活環境の保全のために収集業務の必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	一般廃棄物処理基本計画で示している一般廃棄物の減量化目標を達成したことは評価できる。	
	今後の課題及び方向性	分別不良により回収せず残してくるごみが多数あることや、スプレー缶等によるパッカー車の火災事故を防止するため、継続して分別啓発を推進していく。 また、ごみ排出量と収集運搬経費との関係について、効率的かつ適正な内容となるよう調査検討する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・ごみ排出量とコストについて、他市との比較を行い、効率的かつ適正な業務内容となるよう調査検討する。 【H29年度棚卸しに係る見直し状況】 平成30年度は、他市のデータ収集や将来的な動向を調査している。今後、これらの結果を基に最適な業務内容を検討していく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	廃棄物処理施設等運転管理委託事業 (540172)			担当課	生活環境課		
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	162	頁	
	施策の大綱	低酸素・循環社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	環境パーク内のごみ焼却施設及びリサイクルプラザ・埋立処分場水処理施設(環境パーク・梅原・大油子・三河)の適正な運転管理を実施することにより、搬入された可燃・不燃ごみ及び資源ごみ等の焼却処理、資源化及び減量化を行なうとともに、市民の衛生的かつ効率的な処理を行い、回収資源の還元による省資源化と廃棄物の減量及び埋立処分場の延命化を図る。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	1.64		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 株式会社タカダ						
	事業概要	焼却施設、リサイクルプラザ、水処理施設(環境パーク及び旧三町)の運転管理を委託し、業者のもっている専門的な知識を生かして、安定した維持管理を今後も行う。また、3カ年の長期継続契約とすることで、経費節減効果もある。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		廃棄物処理施設運転維持管理業務、庁舎警備業務			127,592	
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理施設運転維持管理事業、環境パーク運転・維持管理事業、リサイクルプラザ修繕事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	110,383	127,440	127,593	139,834		
		補正予算等・・・②	34,328	152	0			
		繰越し等・・・③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	144,711	78,891	40,358	51,088		
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	0	48,701	87,235	88,746		
		特定財源名称(H29実績)	一般廃棄物手数料		20,000	手数料	14 頁	
		産業廃棄物手数料		20,000	手数料	14 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.20/0	0.19/0	0.19/0	/		
		概算人件費・・・④	1,600	1,520	1,520			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		127,440	129,112	129,113				
執行状況	執行額・・・⑥		144,711	127,592				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公害防止協定、協定値の遵守		協定値以下	協定値以下	協定値以下	協定値以下	
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		廃棄物処理量	t	23044 / 18937	23206/ 18555	/ 17436	完全処理	
		単位あたりコスト		6.3	5.5			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、焼却処理において、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な修繕を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト削減、効率化を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアする。 ・活動実績はごみ処理量。 ・有効な技術等を常に研究している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	施設の安全、適切な維持管理を行うことにより、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な「廃棄物処理」が行えた。 ごみ処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行い、法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。	
	今後の課題及び方向性	廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成31年度からの業務委託について、公募によるプロポーザル方式による業者選定を行なうことにより廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。 【H29年度棚卸しに係る見直し状況】 平成30年度末で既契約が満了し次回の契約について、廃棄物処理施設全般（ごみ焼却、リサイクルプラザ、浸出水処理施設）の運転管理委託の重要性（法規制、公害防止協定の遵守）や情報公開義務に対して、より適正かつ効率的な管理を行なうため公募型プロポーザル方式による選定方式を検討した。	
		予算額の反映状況(対H30)	ま	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	廃蛍光管・乾電池運搬処理事業 (540175)			担当課	生活環境課		
	開始年度	昭和62(1987)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	162	頁	
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	分別収集した廃蛍光管・乾電池の処理について、全国の市町村等で構成する全国都市清掃会議が構築する処理ルートを利用することで、リサイクルを推進し環境保全を図る。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.06		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 日通・JR貨物、野村興産						
	事業概要	一般廃棄物のうち、蛍光管・乾電池については、有害物質を含む処理困難物とされており、通常、市町村が単独で適正な処理を行うことは困難であるため、専門処理業者へ引き渡し、安全かつ適正に処理する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		ドラム缶購入 18本			49	
委託料		運搬業務1件、処理業務1件			3,378			
負担金補助及び交付金		全国都市清掃会議への負担金			64			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		4,314	4,306	0	0	
		補正予算等・・・②		0	△ 38	0	0	
	繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		4,314	4,268	0	0	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0	0.08/0	0./0	/	
概算人件費・・・④		800	640	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			5,114	4,908	0			
執行状況	執行額・・・⑥		3,371	3,491				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		78.1%	81.8%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		リサイクル率	%	18.3 / 19.5	17.5 / 20.0	/	25.0(H32)	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		蛍光管・乾電池の引渡し量	t	29 / 34	31 / 34	/	34	
		単位あたりコスト		116.2	112.6			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・一般廃棄物の処理は市町村の責務であり、環境パークでは処理できない水銀を含む廃棄物を適正に処理するために必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・全国都市清掃会議が構築する処理ルートを活用することで、効率的かつ適正処理を確実に行うことができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	一般廃棄物処理基本計画で示しているリサイクル率の目標を達成するために、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、基本計画のリサイクル化施策の実行を促進させる必要がある。	
	今後の課題及び方向性	蛍光管・乾電池・水銀体温計は水銀を含んでおり、適正に処理を行うために、分別啓発を推進していく。平成30年度よりリサイクル関連事業に統合する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 ・平成30年度からリサイクル関連事業と統合している。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	リサイクルプラザ不燃物分別事業 (540180)			担当課	生活環境課	
	開始年度	平成21(2009)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成	
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	162	頁
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画	
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	ごみ処理過程での火災や爆発事故を防止する。また併せて、使用済小型家電を分別回収することでリサイクルの促進を図る。					
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.22	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山環境事業協同組合					
	事業概要	リサイクルプラザに搬入された不燃ごみを破碎処理する前に、スプレー缶やガスライター等の危険物や小型家電を手選別により除去・分別する業務を委託する。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		需用費		小型家電運搬用フレコンパック購入60枚			45
委託料		リサイクルプラザ不燃物分別業務1件			16,404		
関連事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	14,969	16,560	16,533	16,882	
		補正予算等・・・②	2,060	0	0	0	
		繰越し等・・・③	0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源	10,875	12,490	14,155	16,257
			国支出金	0	0	0	0
			府支出金	0	0	0	0
			地方債	0	0	0	0
			その他特財	6,154	4,070	2,378	625
	特定財源名称 (H29実績)	金属くず売却費		3,287	財産収入	32 頁	
		小型家電売却費		529	財産収入	32 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.05/0	0.06/0	0.06/0	/	
概算人件費・・・④		400	480	480			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		17,429	17,040	17,013			
執行状況	執行額・・・⑥		15,643	16,449			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		91.9%	99.3%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		火災・事故の発生件数	件	2 / 0	0 / 0	/ 0	0
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		手選別日数	日	271 / 271	271 / 271	/ 271	271
		単位あたりコスト		57.7	60.7		
			/	/	/		
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・パーク内の安全確保のためには、必要性は高い。 ・小型家電の再資源化促進については法施行されており、必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・安全の確保が主たる目的であり、成果目標としている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	不燃ごみに混入したスプレー缶やライター等による爆発事故が回避できていない状況である。しかし、大きな火災や人身事故が発生していないことは評価できる。	
	今後の課題及び方向性	爆発事故が毎年発生している。処理時間内に効率的に選別作業を行い、安全を確保するには、家庭での正しい分別排出により危険ごみが適正に出されることが最も重要であり、市民への分別啓発の推進や収集業務の中での排除等、広い範囲で対策方法を調査検討する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 ・危険ごみの混入対策について、市民への分別啓発の推進や収集業務の中での排除等、広い範囲で対策方法を調査検討する。 【H29年度棚卸しに係る見直し状況】 平成30年度は、広報誌による分別啓発を2回実施し、選別業者や収集業者への注意喚起を行った。また、ごみ分別パンフレットをより分かりやすい内容に改訂するため、内容検討を行っている。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	災害廃棄物処理事業 (540183)			担当課	生活環境課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	162	頁	
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成29年10月の台風21号の被害により発生した災害ごみを速やかに処理し、市民の生活環境保全を行う。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.13		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 福知山環境事業協同組合ほか5者						
	事業概要	各被災箇所において指定された臨時集積所に集まった災害ごみを環境パークまで収集運搬し、可燃ごみは焼却処分、不燃ごみは一時仮置きしたものを分別し、品目毎に適正な処理を行った。収集及び直接持込により搬入された災害ごみ総量は673tであった。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		役務費		家電リサイクル対象品のリサイクル手数料			657	
委託料		災害廃棄物の収集運搬、分別、処理業務			6,416			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	0	0	0	
		補正予算等・・・②		0	7,073	0	0	
	繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	4,540	0	0	
		国支出金		0	2,533	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)	災害廃棄物処理事業費		2,533	国補助金	16 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.41/0	0/0	/	
		概算人件費・・・④		0	3,280	0		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	10,353	0			
執行状況	執行額・・・⑥			0	7,073			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			-	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		災害ごみの残存量	t	/	0 / 0	/	0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		災害ごみの処理量	t	/	673 / 673	/	673	
		単位あたりコスト			10.5			
		単位あたりコスト		/	/	/		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・災害ごみの処理を迅速に行うことは、生活環境を衛生的に保ち、被災市民が早急に通常生活に戻るために必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・経験をもった民間業者に委託することにより、迅速かつ効率的に処理を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については災害ごみ全てを迅速に処理することとしている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	673トンの災害ごみを発生から約1ヶ月程度で適正に処理を完了したことは評価できる。		
	今後の課題及び方向性	災害ごみの処理については、被災自治会への連絡、臨時集積場の設置、収集業者の確保、便乗ごみ排出防止対策等について、災害発生直後からいかに迅速に行動できるかにかかっている。いざという時に素早く対応できるよう、災害廃棄物処理計画や災害廃棄物処理マニュアルについて関係職員が研究し、熟知しておくことや、各自治会等に対して災害ごみ排出方法を周知しておく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 ・災害が発生した場合には、災害廃棄物の処理が迅速かつ適正に行われるよう、排出方法の周知徹底や対応マニュアルの見直しを行い、平成31年度6月までに準備しておく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	指定法人引取事業(プラスチック製容器包装類・空きビン) (540192)			担当課	生活環境課		
	開始年度	平成15(2003)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	164	頁	
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	環境省がリサイクル法に基づく適正処理を行う法人として指定する「日本容器包装リサイクル協会」へ処理を委託することで、法令を遵守した再生資源物のリサイクル化と埋立処分場の延命化を図ることができる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	0.02		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会						
	事業概要	プラスチック製容器包装類、空きびん、ペットボトルの引き取り処分を委託する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		旅費		指定法人が行う引取物品質検査立会のための旅費			32	
業務委託料		日本容器包装リサイクル協会への引取処分委託			437			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①		1,043	745	0	0	
		補正予算等…②		0	0	0	0	
		繰越し等…③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		1,043	745	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	0	0	0
			特定財源名称 (H29実績)					頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.07/0	0.09/0	0/0	/	
		概算人件費…④		560	720	0		
	総事業費(①+②+③+④)…⑤			1,603	1,465	0		
執行状況	執行額…⑥		508	469				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		48.7%	63.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		容器包装プラ品質評価	ランク	A / A	A / A	/	A	
		リサイクル率	%	18.3 / 19.5	17.5 / 20.0	/	25.0(H32)	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		容器包装プラ引渡し量	t	720 / 718	725 / 696	/	638	
		単位あたりコスト		0.7	0.6			
			/	/	/			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・日本容器包装リサイクル協会に処理を委託することで、リサイクルが促進できる。埋立処分場の延命化のためには必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・法に基づき組織された日本容器包装リサイクル協会に処理委託することで、効率的かつ適正処理を確実に行うことができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・品質検査でD評価が続くと引き取り停止となるためA評価による再生処理を目標とする。 ・ごみ排出量については「未来創造福知山」基本計画の目標である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	容器包装プラスチックごみ等が異物の混入なく適正に分別排出され、Aランクの評価を受けたことは評価できるが、一般廃棄物処理基本計画で示しているリサイクル率の目標を達成するために、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、基本計画のリサイクル化施策の実行を促進させる必要がある。	
	今後の課題及び方向性	容器包装プラスチックごみ等が更に適正に排出され、リサイクル化が推進するよう継続して市民への分別啓発を推進していく。 平成30年度よりリサイクル関連事業に統合する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・平成30年度からリサイクル関連事業と統合している。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	リサイクル関連事業 (540194)			担当課	生活環境課		
	開始年度	平成15(2003)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 和成		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) じん芥処理費	決算附属資料	164	頁	
	施策の大綱	低炭素・循環型社会の形成			関連計画等	一般廃棄物処理基本計画		
	施策名	リサイクルとごみ処理対策を推進する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	再生資源物のリサイクル化を促進し、ごみの減量化を図る。						
	対象者	全市民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	1.05		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 シルバー人材センター、ふくちやま福祉会、みつみ福祉会、アクアテック						
	事業概要	リサイクルプラザに搬入された資源ごみをリサイクル事業者の引き取り条件に適合させるための中間処理を行う業務を委託する。また、それに関する施設や作業用機械等の維持管理を行う。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		消耗品、燃料、光熱費、水道料、機械修繕料			13,270	
役務費		損害保険料、作業用車両検査料			470			
委託料		ビン・缶分別業務、容器プラ分別業務、中間処理業務			59,740			
使用料及び賃借料		ビン用ホイールローダー			3,226			
備品購入費		プラ手選別用ロッカー			25			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		78,643	79,903	70,389	72,196	
		補正予算等・・・②		△ 136	547	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		50,152	53,646	44,699	45,641	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		28,355	26,804	25,690	26,555	
		特定財源名称 (H29実績)	空き缶売却費			13,786	財産収入	32 頁
		有償入札拠出金			9,166	雑入	46 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.21/0	0.23/0	0.40/0	/	
概算人件費・・・④		1,680	1,840	3,200				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			80,187	82,290	73,589			
執行状況	執行額・・・⑥			72,119	76,731			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			91.9%	95.4%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		リサイクル率	%	18.3 / 19.5	17.5 / 20.0	/ 22.6	25.0(H32)	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		リサイクル量(中間処理分)	t	2,514 / 2,446	2,653 / 2,394	/ 2,346	2,254	
		単位あたりコスト		28.7	28.9			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・資源ごみのリサイクル化を促進することは、市民のごみ分別意識を高め、埋立処分場の延命化につながるため、必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については「未来創造福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	一般廃棄物処理基本計画で示しているリサイクル率の目標を達成するために、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、基本計画のリサイクル化施策の実行を促進させる必要がある。	
	今後の課題及び方向性	ごみの排出量が減量傾向にある中で資源ごみのリサイクル率を向上させていくために、ごみ分別排出の精度向上の啓発や、バイオマス燃料化等の新たな取り組みが必要。また、リサイクル量と経費との関係について、効率的かつ適正な内容となるよう調査検討する。平成30年度より廃蛍光管・乾電池運搬処理事業及び指定法人引取事業を統合する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 ・リサイクル量とコストとの関係について調査分析し、各業務委託契約が適正な内容となっているか根拠を整理する。 【H29年度棚卸しに係る見直し状況】 平成30年度は、リサイクル量と処理コストの過去のデータの収集や他市の状況を調査している。今後、これらのデータを基に最適な業務内容を検討していく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	